

【表紙】

【提出書類】	公開買付届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【届出者の名称】	メディキット株式会社
【届出者の所在地】	東京都文京区湯島一丁目13番2号
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区湯島一丁目13番2号
【電話番号】	(03)3839-8870
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当兼経理部長 石田 健
【代理人の氏名又は名称】	該当事項はありません
【代理人の住所又は所在地】	該当事項はありません
【最寄りの連絡場所】	該当事項はありません
【電話番号】	該当事項はありません
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません
【縦覧に供する場所】	メディキット株式会社 (東京都文京区湯島一丁目13番2号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

- (注1) 本書中の記載において計数が四捨五入又は切捨てされている場合、合計として記載される数値は計数の総和と必ずしも一致しません。
- (注2) 本書中の「法」とは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。)をいいます。
- (注3) 本書中の「令」とは、金融商品取引法施行令(昭和40年政令第321号。その後の改正を含みます。)をいいます。
- (注4) 本書中の「府令」とは、発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令(平成6年大蔵省令第95号。その後の改正を含みます。)をいいます。
- (注5) 本書中の「本公開買付け」とは、本書の提出に係る公開買付けをいいます。
- (注6) 本書中の記載において、日数又は日時の記載がある場合は、特段の記載がない限り、日本国における日数又は日時を指すものとします。

第1【公開買付要項】

1【買付け等をする上場株券等に係る株式の種類】

普通株式

2【買付け等の目的】

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、長期的な安定配当に努めるとともに、機動的・戦略的な開発や投資に備える内部留保の確保を基本方針としております。

また、当社は、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。以下「会社法」といいます。）第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって自己株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、資本効率の向上を図るとともに経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行することを目的とするものであります。

このような環境の下、平成26年8月下旬に、当社の筆頭株主であり、当社創業家の資産管理業務を行っている株式会社ナカジマコーポレーション（以下「ナカジマコーポレーション」といいます。本書提出日現在の保有株式数は、3,720,000株であり、当該株式数は当社の発行済株式総数（9,440,000株）に対する割合（以下「保有割合」といいます。）にして39.41%（小数点以下第三位を四捨五入。以下保有割合の計算において同じ。）に相当します。）により、同社の財務体質強化等の観点から、同社の保有する当社普通株式の一部を売却する意向がある旨の連絡を受けました。

当社は、これを受け、ナカジマコーポレーションの保有する当社普通株式の売却により一時的にまとまった数量の株式が市場に放出された場合に生じ得る当社普通株式の流動性及び市場価格に与える影響、並びに当社の財務状況等を総合的に勘案し、当該株式を自己株式として買い受けることについての検討を開始し、ナカジマコーポレーションとも同社の保有する当社普通株式の取扱いについて協議いたしました。

検討の結果、当社が当該株式を自己株式として取得することは、当社の1株当たり当期純利益（EPS）の向上、自己資本当期純利益率（ROE）などの資本効率向上に寄与し、株主の皆様に対する利益還元にも繋がるものと判断いたしました。また、当社の財務状況、配当政策等を総合的に勘案し、自己株式の取得が、機動的・戦略的な開発や投資に備える内部留保の確保という当社の基本方針に反しないことを確認いたしました。

さらに、自己株式の具体的な取得方法を検討した結果、株主の皆様が所定の買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）中に市場価格の動向を見ながら応募する機会を確保できる公開買付けの方法が、株主間の平等性、取引の透明性の観点からも、最も適切であると判断いたしました。

また、本公開買付けにおける買付け等の価格（以下「買付価格」といいます。）の決定に際して、基準の明確性及び客観性を重視する観点から当社の市場価格を基礎とすること、当社普通株式を保有し続ける株主の皆様を尊重する観点から、資産の社外流出をできるだけ抑えるべく、市場価格を下回る買付価格とするため、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買い付けることが望ましいと判断いたしました。ディスカウント率につきましては、過去の自己株式の公開買付けの事例を参考とすることといたしました。

そこで当社は、平成26年10月中旬頃から、ナカジマコーポレーションとの間で、当社が本公開買付けを実施しナカジマコーポレーションが本公開買付けに応募することを念頭に置いた協議を開始しました。具体的な条件としては、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）ジャスダック市場における一定期間の当社普通株式の終値平均値に対してディスカウントを行った価格を買付価格とする前提で、応募対象とする株式数及び買付価格について両社で協議いたしました。その結果、同年11月上旬に、ナカジマコーポレーションより、当社が、2,900円程度（本公開買付けの実施を決定する取締役会決議日前の約3ヶ月間の当社普通株式の終値平均値に対して13%から14%程度のディスカウント率を適用した価格）を買付価格とする本公開買付けの実施を決議した場合には、ナカジマコーポレーションは、その保有する当社普通株式3,720,000株（保有割合にして39.41%）の一部である880,000株（保有割合にして9.32%）について、本公開買付けに対して応募する旨の意向が表明されました。

当社は、以上の検討及び判断を経て、平成26年11月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及び具体的な取得方法として本公開買付けを実施することを決議いたしました。

上記決議において、本公開買付けの買付価格は1株当たり2,900円としておりますが、その算定の基礎につきましては、後記「4 買付け等の期間、買付け等の価格、算定の基礎及び買付予定の上場株券等の数」「(2) 買付け等の価格等」の「算定の基礎」をご参照下さい。また、本公開買付けにおける買付予定数については、ナカジマコーポレーション以外の株主の皆様にも応募の機会を提供するという観点から、1,000,000株（発行済株式総数に対する割合にして10.59%（小数点以下第三位を四捨五入。））を買付予定数の上限としております。なお、本公開買付けに要する資金につきましては、その全額を自己資金により充当する予定です。平成26年9月末現在における当社連結ベースの手元流動性（現金及び預金）は約216億円であり、本公開買付けの買付け等に要する資金（後記「7 買付け等に要する資金」参照）に充当した後も、当社の手元流動性は十分確保でき、更に事業から生み出されるキャッシュ・フローも一定程度の蓄積が見込まれるため、当社の財務の健全性及び安定性は今後も維持できるものと考えております。

なお、上記決議における利益相反を回避するための措置につきましては、後記「9 その他買付け等の条件及び方法」「(7) その他」「 支配株主との取引等に関する事項」「(イ) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項」をご参照下さい。

なお、当社は、ナカジマコーポレーションより、本公開買付け後もナカジマコーポレーションが保有することとなる当社普通株式（応募意向のある上記株式が全部買い付けられた場合は、2,840,000株、保有割合にして30.08%）については、現時点において、継続して保有する方針であるとの説明を受けております。

本公開買付けにより取得した自己株式の処分等の方針につきましては、現時点では未定であります。

3【株主総会又は取締役会の決議等の内容等】

(1)【発行済株式の総数】

9,440,000株（平成26年11月14日現在）

(2)【株主総会における決議内容】

種類	総数（株）	取得価額の総額（円）

(3)【取締役会における決議内容】

種類	総数（株）	取得価額の総額（円）
普通株式	1,000,100	2,900,290,000

(注) 取得する株式総数の発行済株式総数に占める割合は、10.59%であります（小数点以下第三位を四捨五入）。

(4)【その他（ ）】

種類	総数（株）	取得価額の総額（円）

(5)【上記の決議に基づいて既に取得した自己の株式に係る上場株券等】

種類	総数（株）	取得価額の総額（円）

4【買付け等の期間、買付け等の価格、算定の基礎及び買付予定の上場株券等の数】

(1)【買付け等の期間】

買付け等の期間	平成26年11月14日（金曜日）から平成26年12月15日（月曜日）まで（21営業日）
公告日	平成26年11月14日（金曜日）
公告掲載新聞名	電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。 （電子公告アドレス http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ ）

(2)【買付け等の価格等】

株式の種類	買付け等の価格
普通株式	1株につき金2,900円
算定の基礎	<p>当社は、買付価格の算定に際しては、当社普通株式が金融商品取引所に上場されていること、上場会社が行う自己株式の取得が金融商品取引所を通じた市場買付けによって行われることが多いこと等を勘案し、基準の明確性及び客観性を重視し、当社普通株式の直近の市場価格を基礎に検討を行いました。また、当社普通株式の直近の市場価格として適正な時価を算定するためには、市場株価が経済状況その他様々な条件により日々変動しうるものであることから、一定期間の株価変動についても考慮することが望ましいと判断いたしました。以上を踏まえ、当社は、本公開買付けの買付価格の算定に際し、東京証券取引所ジャスダック市場における、本公開買付けの実施を決定した取締役会決議日である平成26年11月13日の前営業日（同年11月12日）以前で最後に取引が成立した日である同年11月10日の当社普通株式の終値3,650円、同年11月12日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値3,549円（円未満四捨五入。以下、終値の単純平均値の計算において同じ。）、及び同年11月12日までの過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値3,351円を参考にいたしました。</p> <p>一方で、本公開買付けに応募せず、当社普通株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできるだけ抑えるべく、市場価格を下回る買付価格とするため、市場価格に一定のディスカウントを行った価格により買付けることが望ましいと判断いたしました。</p> <p>当社は、平成26年10月中旬頃から、ナカジマコーポレーションとの間で、当社が本公開買付けを実施しナカジマコーポレーションが本公開買付けに応募することを念頭に置いた協議を開始しました。具体的な条件としては、東京証券取引所ジャスダック市場における一定期間の当社普通株式の終値平均値に対してディスカウントを行った価格を買付価格とする前提で、応募対象とする株式数及び買付価格について両社で協議を行いました。その結果、同年11月上旬に、ナカジマコーポレーションより、当社が、2,900円程度（本公開買付けの実施を決定する取締役会決議日前の約3ヶ月間の当社普通株式の終値平均値に対して13%から14%程度のディスカウント率を適用した価格）を買付価格とする本公開買付けの実施を決議した場合には、ナカジマコーポレーションは、その保有する当社普通株式3,720,000株（保有割合にして39.41%）の一部である880,000株（保有割合にして9.32%）について本公開買付けに応募する旨の意向が表明されました。</p> <p>以上を踏まえ、当社は、平成26年11月13日開催の当社取締役会において、本公開買付けの買付価格を、同取締役会の開催日である平成26年11月13日の前営業日である平成26年11月12日までの過去3ヶ月間の東京証券取引所ジャスダック市場における当社普通株式の終値の単純平均値3,351円に対して、約13.5%のディスカウント率を適用した価格である、2,900円とすることを決定いたしました。</p> <p>なお、買付価格である2,900円は、本公開買付けの実施を決定した取締役会の開催日である平成26年11月13日の前営業日（同年11月12日）以前で最後に取引が成立した日である同年11月10日の当社普通株式の終値3,650円から20.55%（小数点以下第三位を四捨五入。以下ディスカウント率の計算において同じ。）、同年11月12日までの過去1ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値3,549円から18.29%、同年11月12日までの過去3ヶ月間の当社普通株式の終値の単純平均値3,351円から13.46%、それぞれディスカウントした金額になります。</p> <p>また、買付価格である2,900円は、本書提出日の前営業日（平成26年11月13日）の東京証券取引所ジャスダック市場における当社普通株式の終値3,650円に対して20.55%をディスカウントした金額となります。</p>

算定の経緯	<p>当社は、平成26年10月中旬頃から、ナカジマコーポレーションとの間で、当社が本公開買付けを実施しナカジマコーポレーションが本公開買付けに応募することを念頭に置いた協議を開始しました。具体的な条件としては、東京証券取引所ジャスダック市場における一定期間の当社普通株式の終値平均値に対してディスカウントを行った価格を買付価格とする前提で、応募対象とする株式数及び買付価格について両社で協議いたしました。その結果、同年11月上旬に、ナカジマコーポレーションより、当社が、2,900円程度（本公開買付けの実施を決定する取締役会決議日前の約3ヶ月間の当社普通株式の終値平均値に対して13%から14%程度のディスカウント率を適用した価格）を買付価格とする本公開買付けの実施を決議した場合には、ナカジマコーポレーションは、その保有する当社普通株式3,720,000株（保有割合にして39.41%）の一部である880,000株（保有割合にして9.32%）について、本公開買付けに対して応募する旨の意向が表明されました。</p> <p>当社は、以上の検討及び判断を経て、平成26年11月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及び具体的な取得方法として本公開買付けを実施することを決議いたしました。</p> <p>上記決議において、当社は、本公開買付けの買付価格を、本公開買付けの実施を決議した取締役会の開催日である平成26年11月13日の前営業日である平成26年11月12日までの過去3ヶ月間の東京証券取引所ジャスダック市場における当社普通株式の終値の単純平均値3,351円に対して約13.5%のディスカウント率を適用した価格である、2,900円とすることを決議いたしました。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 【買付予定の上場株券等の数】

株式の種類	買付予定数	超過予定数	計
普通株式	1,000,000 (株)	(株)	1,000,000 (株)
合計	1,000,000 (株)	(株)	1,000,000 (株)

- (注1) 応募株券等の総数が買付予定数（1,000,000株）を超えない場合は、応募株券等の全部の買付けを行います。応募株券等の総数が買付予定数（1,000,000株）を超える場合は、その超える部分の全部又は一部の買付けは行わないものとし、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び府令第21条に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付けに係る受渡しその他の決済を行います。
- (注2) 単元未満株式についても、本公開買付けの対象としています。なお、会社法に従って株主による単元未満株式買取請求権が行使された場合には、当社は法令の手続きに従い公開買付期間中に自己の株式を買い取ることがあります。

5 【上場株券等の取得に関する許可等】

該当事項はありません。

6【応募及び契約の解除の方法】

(1)【応募の方法】

公開買付代理人

野村證券株式会社 東京都中央区日本橋一丁目9番1号

公開買付代理人の本店又は全国各支店において、所定の「公開買付応募申込書」に所要事項を記載のうえ、公開買付期間末日の15時30分までに応募してください。応募の際には、ご印鑑、本人確認書類が必要になる場合があります。(注1)

なお、本公開買付けにおいて野村ネット&コール又は野村ホームトレードを経由した応募の受付は行われません。

株券等の応募の受付にあたっては、応募株主等が公開買付代理人に設定した応募株主等名義の口座(以下「応募株主等口座」といいます。)に、応募する予定の株券等が記録されている必要があります。そのため、応募する予定の株券等が、公開買付代理人以外の金融商品取引業者等に設定された口座に記録されている場合(当社の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に設定された特別口座に記録されている場合を含みます。)は、応募に先立ち、応募株主等口座への振替手続を完了していただく必要があります。

本公開買付けにおいては公開買付代理人以外の金融商品取引業者を経由した応募の受付は行われません。

外国の居住者であり、公開買付代理人にお取引可能な口座をお持ちでない株主等(法人株主等を含みます。以下「外国人株主等」といいます。)の場合、日本国内の常任代理人を通じて応募してください。なお、外国人株主等のうち、適用ある租税条約に基づき、後述のみなし配当金額に対する所得税の軽減又は免除を受けることを希望する株主は、応募の際に、公開買付応募申込書と共に租税条約に関する届出書を公開買付代理人にご提出ください。

個人株主が本公開買付けに応募した場合の税務上の取扱いは次のとおりです。(注2)

(イ) 応募株主等が居住者及び国内に恒久的施設を有する非居住者の場合

本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、当社の資本金等の額(連結法人の場合は連結個別資本金等の額)のうちその交付の基因となった株式に対応する部分の金額を超過するとき(1株当たりの買付価格が当社の1株当たりの資本金等の額を上回る場合)は、当該超過部分の金額については、配当とみなして課税されます。また、本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額から、配当とみなされる金額を除いた部分の金額については株式等の譲渡収入となります。なお、配当とみなされる金額がない場合(1株当たりの買付価格が当社の1株当たりの資本金等の額以下の場合)には交付を受ける金銭の額のすべてが譲渡収入となります。

配当とみなされる金額については、20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%)の額が源泉徴収されます(国内に恒久的施設を有する非居住者にあつては、住民税5%は特別徴収されません。)。ただし、租税特別措置法施行令第4条の6の2第12項に規定する大口株主等(以下「大口株主等」といいます。)に該当する場合には、20.42%(所得税及び復興特別所得税のみ)の額が源泉徴収されます。また、譲渡収入から当該株式に係る取得費を控除した金額については、原則として、申告分離課税の適用対象となります。

(ロ) 応募株主等が国内に恒久的施設を有しない非居住者の場合

配当とみなされる金額について、15.315%(所得税及び復興特別所得税のみ)の額が源泉徴収されます。

なお、大口株主等に該当する場合には、20.42%(所得税及び復興特別所得税のみ)の額が源泉徴収されます。また、当該譲渡により生じる所得については、原則として、課税されません。

法人株主が本公開買付けに応募して交付を受ける金銭の額が、当社の資本金等の額(連結法人の場合には連結個別資本金等の額)のうちその交付の基因となった株式に対応する部分の金額を超過するときは、当該超過部分の金額については、配当とみなされます。配当とみなされた部分について、原則として15.315%(所得税及び復興特別所得税のみ)の額が源泉徴収されます。(注2)

応募株券等の全部又は一部の買付けが行われなかったこととなった場合、買付けの行われなかった株券等は応募株主等に返還されます。

(注1) ご印鑑、本人確認書類について

公開買付代理人である野村証券株式会社に新規に口座を開設する場合、ご印鑑のほか、本人確認書類が必要になります。また、既に口座を有している場合であっても、本人確認書類が必要な場合があります。なお、本人確認書類等の詳細につきましては、公開買付代理人にお尋ねください。

おもな本人確認書類

- 個人 <発行から6ヶ月以内の原本>
住民票の写し 住民票の記載事項証明書 印鑑登録証明書
<有効期限内の原本>
健康保険証(各種) 運転免許証 住民基本台帳カード(氏名・住所・生年月日の記載があるもの) 福祉手帳(各種) 旅券(パスポート) 国民年金手帳(平成8年12月31日以前に交付されたもの) 在留カード 特別永住者証明書
本人確認書類は、有効期限内のものである必要があります。
本人確認書類は、以下の2点を確認できるものである必要があります。
本人確認書類そのものの有効期限 申込書に記載された住所・氏名・生年月日
郵送でのお申込みの場合、いずれかの書類の原本かコピーをご用意ください。コピーの場合は、あらためて原本の提示をお願いする場合があります。野村証券株式会社より本人確認書類の記載住所に「取引に係る文書」を郵送し、ご本人様の確認をさせていただきます。
- 法人 登記簿謄本 官公庁から発行された書類 等
本人特定事項 名称 本店又は主たる事務所の所在地
法人自体の本人確認に加え、代表者若しくは代理人・取引担当者個人(契約締結の任に当たる者)の本人確認が必要となります。
- 外国人株主 外国人(居住者を除きます。)、外国に本店又は主たる事務所を有する法人の場合、日本国政府の承認した外国政府又は権限ある国際機関の発行した書類その他これに類するもので、居住者の本人確認書類に準じるもの。

(注2) 税務上の具体的なご質問等は税理士等の専門家にご相談いただき、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

(2) 【契約の解除の方法】

応募株主等は、公開買付期間中においては、いつでも公開買付けに係る契約を解除することができます。契約の解除をする場合は、公開買付期間末日の15時30分までに下記に指定する者の応募の受付を行った本店又は全国各支店に、公開買付けに係る契約の解除を行う旨の書面(以下「解除書面」といいます。)を交付又は送付してください。ただし、送付の場合は、解除書面が公開買付期間末日の15時30分までに到達することを条件とします。

解除書面を受領する権限を有する者 野村証券株式会社
東京都中央区日本橋一丁目9番1号
(その他の野村証券株式会社全国各支店)

(3) 【上場株券等の返還方法】

応募株主等が上記「(2) 契約の解除の方法」に記載の方法により公開買付けに係る契約の解除を申し出た場合には、解除手続終了後速やかに、後記「8 決済の方法」の「(4) 上場株券等の返還方法」に記載の方法により応募株券等を返還します。

(4) 【上場株券等の保管及び返還を行う金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地】

野村証券株式会社 東京都中央区日本橋一丁目9番1号

7【買付け等に要する資金】

(1)【買付け等に要する資金】

買付代金(円)(a)	2,900,000,000
買付手数料(b)	29,000,000
その他(c)	3,000,000
合計(a) + (b) + (c)	2,932,000,000

- (注1) 「買付代金(円)(a)」欄には、買付予定数(1,000,000株)に1株当たりの買付価格(2,900円)を乗じた金額を記載しています。
- (注2) 「買付手数料(b)」欄には、公開買付代理人に支払う手数料の見積り額を記載しています。
- (注3) 「その他(c)」欄には、本公開買付けに関する公告及び公開買付説明書その他必要書類の印刷費その他諸費用につき、その見積額を記載しています。
- (注4) その他公開買付代理人に支払われる諸経費及び弁護士報酬等がありますが、その額は未定です。
- (注5) 上記金額には消費税等は含まれていません。

(2)【買付け等に要する資金に充当しうる預金又は借入金等】

	預金の種類	金額
届出日の前日現在の預金等	普通預金	5,085,189,617円
	計	5,085,189,617円

8【決済の方法】

(1)【買付け等の決済をする金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地】

野村證券株式会社 東京都中央区日本橋一丁目9番1号

(2)【決済の開始日】

平成27年1月13日(火曜日)

(3)【決済の方法】

公開買付期間終了後遅滞なく、公開買付けによる買付け等の通知書を応募株主等(外国人株主等の場合は常任代理人)の住所宛に郵送します。

買付けは、金銭にて行います。応募株主等は公開買付けによる売却代金より適用ある源泉徴収税額(注)を差し引いた金額を送金等の応募株主等が指示した方法により、決済の開始日以後遅滞なく受け取ることができます(送金手数料がかかる場合があります。)

(注) 公開買付けにより買付けられた株式に対する課税関係については、前記「6 応募及び契約の解除の方法」「(1) 応募の方法」及び をご参照ください。

(4)【上場株券等の返還方法】

後記「9 その他買付け等の条件及び方法」の「(1) 法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第4項第2号に掲げる条件の有無及び内容」及び「(2) 公開買付けの撤回等の開示の方法」に記載の条件に基づき応募株券等の全部又は一部を買付けないこととなった場合には、公開買付期間の末日の翌々営業日(公開買付けの撤回等を行った場合は撤回等を行った日)以後速やかに、公開買付代理人の応募株主等口座上で、返還すべき株券等を応募が行われた直前の記録に戻すことにより返還します(株券等を他の金融商品取引業者等に設定した応募株主等の口座に振替える場合は、応募の受付をされた公開買付代理人の本店又は全国各支店にご確認ください。)

9【その他買付け等の条件及び方法】

(1)【法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第4項第2号に掲げる条件の有無及び内容】

応募株券等の総数が買付予定数(1,000,000株)を超えない場合は、応募株券等の全部の買付けを行います。応募株券等の総数が買付予定数(1,000,000株)を超える場合は、その超える部分の全部又は一部の買付けは行わないものとし、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の13第5項及び府令第21条に規定するあん分比例の方式により、株券等の買付けに係る受渡しその他の決済を行います(各応募株券等の数に1単元(100株)未満の株数の部分がある場合、あん分比例の方式により計算される買付株数は各応募株券等の数を上限とします。)

あん分比例の方式による計算の結果生じる1単元未満の株数を四捨五入して計算した各応募株主等からの買付株数の合計が買付予定数に満たない場合は、買付予定数以上になるまで、四捨五入の結果切捨てられた株数の多い応募株主等から順次、各応募株主等につき1単元(追加して1単元の買付けを行うと応募株券等の数を超える場合は応募株券等の数までの数)の応募株券等の買付けを行います。ただし、切捨てられた株数の等しい複数の応募株主等全員からこの方法により買付けを行うと買付予定数を超えることとなる場合には、買付予定数を下回らない範囲で、当該応募株主等の中から抽せんにより買付けを行う株主等を決定します。

あん分比例の方式による計算の結果生じる1単元未満の株数を四捨五入して計算した各応募株主等からの買付株数の合計が買付予定数を超える場合は、買付予定数を下回らない数まで、四捨五入の結果切上げられた株数の多い応募株主等から順次、各応募株主等につき買付株数を1単元(あん分比例の方式により計算される買付株数に1単元未満の株数の部分がある場合は当該1単元未満の株数)減少させるものとし、切上げられた株数の等しい複数の応募株主等全員からこの方法により買付株数を減少させると買付予定数を下回ることとなる場合には、買付予定数を下回らない範囲で、当該応募株主等の中から抽せんにより買付株数を減少させる株主等を決定します。

(2)【公開買付けの撤回等の開示の方法】

当社は、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の11第1項但書に基づき、公開買付けの撤回等を行うことがあります。この場合は、電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。ただし、公開買付期間末日までに公告を行うことが困難である場合は、府令第11条に規定する方法により公表し、その後直ちに公告を行います。

(3)【応募株主等の契約の解除権についての事項】

応募株主等は、公開買付期間中においては、いつでも公開買付けに係る契約を解除することができます。解除の方法については、前記「6 応募及び契約の解除の方法」の「(2) 契約の解除の方法」に記載の方法によるものとします。なお、当社は応募株主等による契約の解除があった場合においても、損害賠償又は違約金の支払いを応募株主等に請求することはありません。また、応募株券等の返還に要する費用も当社の負担とします。

(4)【買付条件等の変更をした場合の開示の方法】

当社は、公開買付期間中、法第27条の22の2第2項において準用する法第27条の6第1項により禁止される場合を除き、買付条件等の変更を行うことがあります。この場合は、電子公告を行い、その旨を日本経済新聞に掲載します。ただし、公開買付期間末日までに公告を行うことが困難である場合は、府令第11条に規定する方法により公表し、その後直ちに公告を行います。買付条件等の変更がなされた場合、当該公告が行われた日以前の応募株券等についても、変更後の買付条件等により買付けを行います。

(5)【訂正届出書を提出した場合の開示の方法】

当社が訂正届出書を関東財務局長に提出した場合は、直ちに、訂正届出書に記載した内容のうち、公開買付開始公告に記載した内容に係るものを、府令第11条に規定する方法により公表します。また、直ちに公開買付説明書を訂正し、かつ、既に公開買付説明書を交付している応募株主等に対しては、訂正した公開買付説明書を交付して訂正します。ただし、訂正の範囲が小範囲に止まる場合には、訂正の理由、訂正した事項及び訂正後の内容を記載した書面を作成し、その書面を応募株主等に交付することにより訂正します。

(6)【公開買付けの結果の開示の方法】

本公開買付けの結果については、公開買付期間末日の翌日に、令第14条の3の4第6項及び第9条の4並びに府令第19条の2に規定する方法により公表します。

(7)【その他】

本公開買付けは、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて行われるものではなく、また、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段（電話、テレックス、ファクシミリ、電子メール、インターネット通信を含みますが、これらに限りません。）を使用して行われるものではなく、更に米国内の証券取引所施設を通じて行われるものでもありません。上記方法・手段により、若しくは上記施設を通じて、又は米国内から本公開買付けに応募することはできません。

また、公開買付届出書又は関連する買付書類は米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、郵送その他の方法によって送付又は配布されるものではなく、かかる送付又は配布を行うことはできません。上記制限に直接又は間接に違反する本公開買付けへの応募はお受けいたしません。

本公開買付けの応募に際し、応募株主等（外国人株主等の場合は常任代理人）は公開買付代理人に対し、以下の旨の表明及び保証を行うことを求められることがあります。応募株主等が応募の時点及び公開買付応募申込書送付の時点のいずれにおいても、米国に所在していないこと。本公開買付けに関するいかなる情報（その写しを含みます。）も、直接間接を問わず、米国内において若しくは米国に向けて、又は米国内から、これを受領したり送付したりしていないこと。買付け若しくは公開買付応募申込書の署名交付に関して、直接間接を問わず、米国の郵便その他の州際通商若しくは国際通商の方法・手段（電話、テレックス、ファクシミリ、電子メール、インターネット通信を含みますが、これらに限りません。）又は米国内の証券取引所施設を使用していないこと。他の者の裁量権のない代理人又は受託者・受任者として行動する者ではないこと（当該他の者が買付けに関するすべての指示を米国外から与えている場合を除きます。）。

当社が本公開買付けの実施を決議した場合には、当社の筆頭株主であり、創業家の資産管理業務を行うナカジマコーポレーションは、保有する当社普通株式3,720,000株（保有割合にして39.41%）の一部である880,000株（保有割合にして9.32%）について、本公開買付けに対して応募する意向を表明しております。

なお、当社は、ナカジマコーポレーションより、本公開買付け後もナカジマコーポレーションが保有することとなる当社普通株式（応募意向のある上記株式が全部買い付けられた場合は2,840,000株、保有割合にして30.08%）については、現時点において、継続して保有する方針であるとの説明を受けております。

支配株主との取引等に関する事項

(ア) 支配株主との取引等の該当性及び少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

ナカジマコーポレーションは、支配株主である当社の代表取締役会長中島弘明及び同氏の近親者が議決権の過半数を所有している会社であることから、本公開買付けによる同社からの自己株式の取得は、東京証券取引所の有価証券上場規程に定められている支配株主との取引等に該当します。

当社が平成26年9月18日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書の「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」（注）では、会社との利益相反や自己取引等が生じる場合は、随時顧問弁護士から法的アドバイスを受けるなど、必要な措置を講じて法令遵守する体制を構築するとしております。本公開買付けによるナカジマコーポレーションからの自己株式の取得もこれと同様の取扱いとしており、当該指針に従い随時顧問弁護士から法的アドバイスを受けるなど、法令遵守のため必要な措置を講じております。

また、本公開買付けによるナカジマコーポレーションからの自己株式の取得は、自己株式の取得に際して、少数株主保護の観点から以下の措置を講じているため、取引内容及び条件は公正かつ適切な手続きを経て決定しており、かかる指針に適合していると判断しております。

（注） 当該指針の全文は、以下のとおりです。

「当社代表取締役会長 中島弘明は、本人と近親者及び主要株主に該当する会社が有する当社株式に係る議決権の合計が、当社の議決権の過半数であり、東京証券取引所の規則に定める支配株主に当たります。中島弘明は、当社創業者かつ代表取締役会長であり、会社法を始めとする関係法令等に従い、機関を構成し、経営上の意思決定を行っております。万一、会社との利益相反や自己取引等を生じる場合は、随時顧問弁護士から法的アドバイスを受けるなど、必要な措置を講じて法令遵守する体制を構築しております。」

(イ) 公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

当社は、自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、ナカジマコーポレーション以外の株主にも一定の検討期間を与えた上で市場価格の動向を見ながら応募する機会が確保されている公開買付けの手法によって実施することとしております。

また、買付価格については、本公開買付けに応募せず当社普通株式を保有し続ける株主の皆様の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできるだけ抑えるべく、市場価格を下回る買付価格とするため、市場価格より一定のディスカウントを行った価格で買付けることといたしました。

さらに、当社の代表取締役会長である中島弘明は、本人と近親者及び主要株主に該当する会社が有する当社株式に係る議決権の合計が、当社の議決権の過半数であり、東京証券取引所の規則に定める支配株主に当たり、同氏の妻はナカジマコーポレーションの代表取締役であり、当社の取締役である中島崇は、ナカジマコーポレーションの取締役を兼務し、ナカジマコーポレーションの議決権の過半数を有する筆頭株主であるため、本公開買付けに関する利益相反を回避し取引の公正を期する観点から、当社とナカジマコーポ

レーションの事前の協議及び交渉には当社の立場から参加しておらず、本公開買付けに関する取締役会の審議及び決議にも参加していないこと、また、当社の代表取締役社長である栗田宣文は、妻がナカジマコーポレーションの取締役であるため、念のため、上記に準じて当社とナカジマコーポレーションの事前の協議及び交渉には当社の立場から参加しておらず、本公開買付けに関する取締役会の審議及び決議にも参加していないことから、決定の独立性は確保されております。

なお、平成26年11月13日開催の当社取締役会において、中島弘明、栗田宣文、中島崇以外のすべての取締役及び監査役が出席の上、出席取締役の全員一致により、本公開買付けを実施することを決議するとともに、出席監査役全員から、本公開買付けを実施することに異議がない旨の意見が述べられております。

また、下記「(ウ) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要」に記載のとおり、当社は、本公開買付けの公正性を担保するため、ナカジマコーポレーションとの間に利害関係を有せず、一般株主と利益相反が生じるおそれがない当社の独立役員である社外監査役2名(栗岡臣男、大島秀二)から、本公開買付けは当社の少数株主にとって不利益なものではないと判断する旨の意見を平成26年11月13日に入手しております。

(ウ) 当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

当社は、平成26年10月下旬に、ナカジマコーポレーションとの間に利害関係を有せず、一般株主と利益相反が生じるおそれのない当社の独立役員である社外監査役2名(栗岡臣男、大島秀二)に対し、本公開買付けは当社の少数株主にとって不利益なものではないかについての意見を依頼いたしました。当該社外監査役は、当社取締役会での検討を含め、当社から、本公開買付けの目的及び経緯、買付価格の算定方法その他の諸条件、本公開買付けに関する当社の意思決定における手続の適正性・公正性等についての説明を受け、検討を行いました。その結果、本公開買付けに係る当社の意思決定について、以下の点を総合的に考慮して、当社の少数株主にとって不利益なものではないと判断する意見を平成26年11月13日に入手しております。

- (i) 本公開買付けは、当社の事業上又は財務上の観点から不合理なものとは認められないこと。
- () 株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、自己株式の具体的な取得方法については、少数株主にも一定の検討期間を与えた上で市場価格の動向を見ながら応募する機会が確保されている公開買付けの手法によって行われること。
- () 公開買付けに応募せず当社普通株式を保有し続ける株主の利益を尊重する観点から、資産の社外流出をできる限り抑えるべく市場価格より一定のディスカウントを行った価格を買取価格としており、ナカジマコーポレーションに特に有利な条件での取引には該当しないこと。
- () 当社の代表取締役会長である中島弘明は、本人と近親者及び主要株主に該当する会社が有する当社株式に係る議決権の合計が、当社の議決権の過半数であり、東京証券取引所の規則に定める支配株主に当たり、同氏の妻はナカジマコーポレーションの代表取締役であり、当社の取締役である中島崇は、ナカジマコーポレーションの取締役を兼務し、ナカジマコーポレーションの筆頭株主であるため、本公開買付けに関する利益相反を回避し取引の公正を期する観点から、当社とナカジマコーポレーションの事前の協議及び交渉には当社の立場から参加しておらず、本公開買付けに関する取締役会の審議及び決議にも参加していないこと、また、当社の代表取締役社長である栗田宣文は、妻がナカジマコーポレーションの取締役であるため、念のため、上記に準じて当社とナカジマコーポレーションの事前の協議及び交渉には当社の立場から参加しておらず、本公開買付けに関する取締役会の審議及び決議にも参加していないことから、決定の独立性は確保されていること。

第2【公開買付者の状況】

1【発行者の概要】

- (1)【発行者の沿革】
- (2)【発行者の目的及び事業の内容】
- (3)【資本金の額及び発行済株式の総数】

2【経理の状況】

- (1)【貸借対照表】
- (2)【損益計算書】
- (3)【株主資本等変動計算書】

3【株価の状況】

金融商品取引所名 又は認可金融商品 取引業協会名	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)						
	平成26年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高株価(円)	3,045	3,060	3,030	3,180	3,430	3,805	3,650
最低株価(円)	2,900	2,920	2,956	2,880	3,140	3,400	3,340

(注) 平成26年11月については、11月13日までのものです。

4【継続開示会社たる公開買付者に関する事項】

(1)【発行者が提出した書類】

【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第30期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) 平成25年6月28日関東財務局長に提出
事業年度 第31期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日) 平成26年6月30日関東財務局長に提出

【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第32期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)平成26年11月14日関東財務局長に提出

【訂正報告書】

該当事項はありません。

(2)【上記書類を縦覧に供している場所】

メディキット株式会社
(東京都文京区湯島一丁目13番2号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

5【伝達を受けた公開買付け等の実施に関する事実の内容等】

該当事項はありません。